

自治が育つ 学びと協働を考える

社会教育・生涯学習研究所は20周年を迎え、阿智村調査研究の本をまとめました。出版記念シンポジウムは、村民の執筆者に登壇いただき、阿智村の「自治」を育てる「学び」と「協働」の意義を確認しながら、これからの「住民主体の村づくりを」考えていきます。どなたでも参加できます。ぜひご参加ください。

◇日時 2018年3月17日(土) 12時開場 12時30分～2時30分

◇場所 熊谷元一写真童画館・2階イベントホール
長野県下伊那郡阿智村智里331-1

◆登壇者

林 茂伸氏 (満蒙開拓平和記念館ボランティアガイド)
小林ちずか氏 (NPO 法人なみあい育遊会)
熊谷時雄氏 (元智里西地区開発協同組合専務)
山本昌江氏 (阿智村保健師)

◆コメンテーター

高橋寛治氏 (Localization Planner)

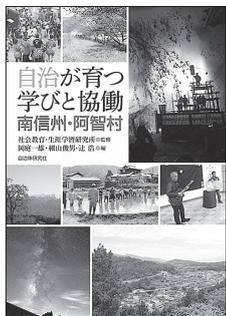
◆進行

辻 浩氏 (日本社会事業大学教授)

◇参加費無料、問合せ=kenqjo@yahoo.co.jp (社会教育・生涯学習研究所)

□主催 あち自由大学 社会教育・生涯学習研究所 □後援 自治体研究社

自治が育つ学びと協働 南信州・阿智村



社会教育・生涯学習研究所 監修
岡庭一雄・細山俊男・辻浩 編

本書は、南信州・阿智村の、住民が自由に協同する「小さな自治」と、一人ひとりの人生の質を高める「学び」の場としての公民館と、住民の協同を行政が支える「協働」の実際を紹介する。小さな自治(住民協同)はやがて大きな自治(自治体)をつくる。

定価(本体1800円+税)

内容目次

- 第1章 村をつくる住民の活動の広がり
- 第2章 若い世代の参加と創造性の発揮
- 第3章 一人ひとりの人生の質が高められる村をめざして
- 第4章 自治をつくる学びと協働
 - 4-1 住民主体の村をつくる
 - 4-2 持続可能な地域づくりと子育て・学校・若者
 - 4-3 住民の学びと公務労働
 - 4-4 「地域づくり」—それは人びとが豊かに育つこと

自治体研究社 162-8512 東京都新宿区矢来町123 矢来ビル4F
Tel. 03-3235-5941 Fax 03-3235-5933 WWW.jichiken.jp

推薦の言葉

阿智村長 熊谷秀樹氏



南信州、岐阜県との県境に位置する阿智村は、美人の湯「昼神温泉郷」を核とした人口約6500人の小さな村です。しかし環境省から認定された日本一美しい星空や、1万本の花桃、清内路の伝統花火など地域資源が豊富で、そして東山道など万葉の歴史がある奥深い地域でもあります。

そして何より「自治と協働」という観点で村の歴史を刻んで参りました。こういう私も若い頃、公民館の役員として地域活動に一生懸命携わってきた者の一人です。住民一人ひとりの力が村政を、村づくりを担っていると感じています。この本を読んで、多くの方がさらにパワーアップし、各地域で活躍して下さることを期待して、推薦の言葉とさせていただきます。

平成30年春